



学校だより 3月号

市田っ子

令和5年2月24日発行
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱいの学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

「マルトリートメント」ご存じですか？

ある商業施設に買い物に行きました。合わせて理髪しようと思い、チケットを買って利用待ちの列に並びました。

すると、2歳に満たないくらいの子供が私の前を走り抜け、建物の死角に消えていきました。その時は何も考えませんでした。ふと、保護者が追いかけてこないことに気付きました。「もしかして迷子か？」と思い、列を離れその子が走り去った方向を少し探していたら、小学2年生くらいの女の子と3歳くらいの男の子、その後を保護者が血相を変えて走ってきました。周囲を見渡しても子供の影はなく、この子が走って行った壁の死角にはエレベーターがあり、どうやら乗ってしまったようです。

当然、保護者は心配をしています。突然、周囲の目も憚らず2人に対し「おまえ達が見てないからいなくなったんだ」と怒鳴り散らし、男の子の頭をひっぱたきました。そして2人に向かって、「ここに居ろ。絶対動くな」と言い放ち、1人でエレベーターに乗ってしまいました。

この様子を理髪を待っている他のお客さんが心配そうに見ていました。ある方と目が合ったので、私は思わず「虐待ですよ」と声を掛けてしまいました。するとその方はゆっくり頷きました。

「大きな事件になっては」と思い、お姉ちゃんに「男の子探してるよね。どんな服着てたの？」と尋ねたところ「緑色のジャンパー」と答えたので、この2人を先程の方に勝手に任せ、各階の子供が行きそうな場所を探しました。すると、迷子の館内放送があり5分後くらいに発見の放送があったので、ほっとして列に並び直しました。目の合った方も安心した表情をしていて、再び目が合いました。

「マルトリートメント」という言葉をご存じでしょうか？

マルトリートメントとは「避けるべき子育て、不適切な養育」を指し、怒鳴ったり、叩いたり、つい感情にまかせて保護者の気分の子への態度を変えるなどで、子供の健全な発育を妨げることです。

今もしつけのために叩き、それがエスカレートし、子供の命を奪ってしまうケースが後を絶ちません。大人に加害の意図があるか否かにかかわらず、子供に目立った傷やこころの病気が見られなくても、行為そのものが不適切であれば、それは「マルトリートメント」になります。ニュースで報道される「虐待」は極端なケースと思いがちです。しつけと称しても、脅したり暴言をぶついたりといった行為は、心理的・精神的な虐待となります。

つまり、日常生活の場面において起こりうるものです。子供と関わる多くの大人が、自分は虐待と無関係だと思って見過ごし、日常的に不適切な接し方で子供を傷つけてしまっている可能性があります。

「マルトリートメント」が頻度や強度を増したとき、その結果、学習意欲の低下や非行、こころの病に結びつく危険性があります。養育者と子供の力関係は対等ではありません。「強者」である大人が、「弱者」である子供を怒鳴りつけ、体罰を与えるという行為は、想像するより強い衝撃を与えます。しつけとは、子供に恐怖を与えることではなく、正しく導くことが目的でなければなりません。このことは教職員にとっても同様です。暴言や体罰は子供を望ましい方向へ導くものではなく、絶対に行ってはいけません。

2度の合った方が先に理髪を終えた帰り際出口で、三度目の目が合いました。目が合ったというより、メッセージの隠ったアイコンタクトと受け取りました。

本年度最後の授業参観 ～1年間で大きく成長した子供たちの姿はいかがでしたか～

2月8日（水）に4～6年生、2月17日（金）に1～3年、ひ組の授業参観がありました。今年度最後の授業参観ということで、学習発表会やハーフ成人式（4年生）などもありました。1年間で子供たちは、とても大きく成長しました。身長や体重など体も大きくなりました。また、学習面や生活面でも、分からなかったものが、分かるようになったり、できなかったことが、できるようになったりと大きな成長を見せてくれました。私たち教師は、そんな子供たちの成長を見られることがこの上ない喜びです。これからも子供たちの健やかな成長のために全力で励んでまいります。今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。



5年生社会科見学 ～教科書では学べない体験を～

2月16日（木）に5年生が社会科見学へ行ってきました。Skipcityでは、映像がどうやってできているのかなどを学び、実際にニュース番組作りを、役割分担をして模擬体験しました。環境科学国際センターでは、環境問題について、体験等をとおして学びました。教科書だけでは学べないことを学ぶことができた貴重な1日となりました。



OBL ～近未来の学習スタイル？ 時代は、日々進化しています～

2月17日（金）に5・6年生が、OBL（オンライン・ブレンディッド・ラーニング「直訳すると、ネットワーク上と合体した学習」）の3回目を行いました。担当の熊谷市教育委員会の方に、本校の5・6年生は、「物怖じしないで、積極的にALT（アシスタント・ラーニング・ティーチャー）と英会話を楽しんでいて、素晴らしいです。熊谷市内でも1番です。」とお褒めの言葉をいただきました。



裏面もあります